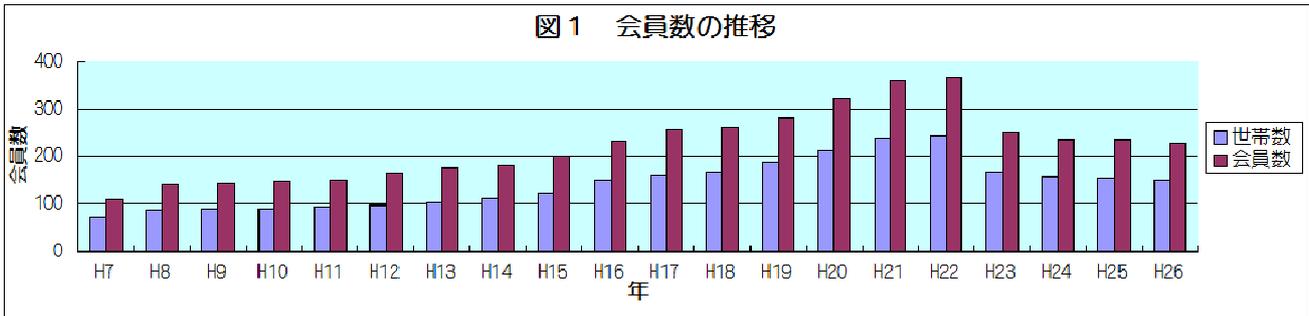


♡♡♡♡ 「想い」をつないで ♡♡♡♡

今回の会報「わかば」は記念すべき通巻第 200 号です。第 1 号は平成 7 年 12 月の発行です。18 年以上にわたって発行され、会員の皆様との貴重なコミュニケーションの場として定着しています。その間、世の中は変わり、介護保険の登場などによりボランティアの内容も変わってきました。「わかばの会」もこの 18 年の間に山あり谷あり、嬉しかったことや苦しかったことなど色々あった事と推察されます。しかし、どんなに世の中が変わっても私たちのナルクの 4 つの理念、「助け合い」、「奉仕」、「生きがい」、「自立」は変わりません。先輩たちの「想い」をつないで、ナルクの活動をさらに活発に続けて行きたいものです。

図1は世帯数・会員数の推移を表したグラフです。平成 22 年まで会員数は順調に増加しています。平成 22 年 10 月 1 日に箕面拠点が分離独立し、その後「わかばの会」の会員数は漸



減傾向が続いています。今の会員数は 10 年前(平成 16 年)とほぼ同じですが、1月号の会報でお知らせしたとおり、現在の会員の平均年齢は72.3歳で 10 年前は 65.7 歳でした。従って、「わかばの会」の活動内容や質も変化しているでしょう。

図 2 は預託活動点数の推移、図 3 は奉仕活動点数の推移を表しています。いずれも平成 23 年以降は箕面拠点独立後の値です。預託活動は平成 18 年までは順調に伸びていましたが、19 年以降は減少に転じました。箕面独立後はほぼ横ばいです。奉仕活動は平成 20 年までは伸びていましたが、21 年から急激に落ち込み、箕面独立後はほぼ安定した状態になっています。



図 4 は昨年度の個人別預託活動点数の多い順に並べたグラフです。昨年、何らかの預託活動をされた方は 48 名で、これは全会員の約 20%です。活動点数の多い上位 10 名で全体の 60%、20 名で 85%、30 名で 95%の預託活動をしたことが分かります。「わかばの会」は会員全員のもので、先輩たちに習って、一人ひとりの会員が「助け合い」と「奉仕」を行いませんか。そしてそれが自らの「生きがい」と「自立」に繋がれば最高の幸せですね。(事務局)

